

隠岐病院 MRI 調達業務事業者選定
公募型プロポーザルの選定結果について

隠岐病院における MRI の導入に関し、機器の調達等について自由提案により隠岐病院に適正なコストで最適な診断・治療環境を提案する事業者を選定するため次のとおり公募型プロポーザルを実施した。

1. 審査結果

最優秀提案者 東京医療化学株式会社

2. 募集及び選定の経過

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 募集公告 | 令和8年3月 3日 (火) |
| (2) 参加申請書提出期限 | 令和8年3月 27日 (金) |
| (3) 参加資格審査結果の通知 | 令和8年4月 6日 (月) |
| (4) プロポーザルの実施 | 令和8年4月 8日 (水) |
| (5) 選定委員会の開催 | 第1回 令和8年2月 3日 (火)
第2回 令和8年2月 17日 (火)
第3回 令和8年4月 7日 (火) |

3. 参加申請団体

- (1) 富士フイルムメディカル株式会社 中国支社
(広島県広島市東区二葉の里 3-5-7 GRANODE 広島 11 階)
- (2) キヤノンメディカルシステムズ株式会社 山陰支店
(島根県松江市朝日町 484 番地 16)
- (3) 東京医療化学株式会社
(東京都品川区西五反田 1-14-1 シンセービル)

4. 選定の方法

(1) 選定委員会委員の構成

役 職	氏 名	備 考
院長	徳家 敦夫	委員長
副院長	加藤 一朗	
診療部長	齋藤 恭子	
看護部長	高村 浩美	
医療技術部参与	増谷 秀樹	
事務部長	齋賀 光成	
放射線科副科長	池田 和也	

(2) 提出書類の確認

申請団体からの提出書類については、公告に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認した。

(3) プレゼンテーション及びヒアリング

申請団体に対し、提案内容等について 30 分間の説明を求め、その後、各委員との間で 15 分間の質疑応答を行った。

(4) 審査内容及び結果

4 - (1)による各委員の点数を集計した結果、総合評価点が最も高かった提案者は以下のとおりとなった。

最優秀提案者 東京医療化学株式会社

次点 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 山陰支店

団体名	総合評価点	結果
富士フイルムメディカル株式会社 中国支社	808.1 点	
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 山陰支店	830.3 点	次点
東京医療化学株式会社	852.7 点	最優秀提案者

※詳細については別紙参照

5. 審査の総評

- 今回の提案に参加した 3 者は、当院における MRI 機器の重要性を十分に理解し、AI を活用した性能（画質や検査時間の短縮）やサポート体制、導入実績、導入及びランニング費用の面で高い水準の提案が行われた。いずれも当院の求める条件を満たしており、より良い診療環境の整備につながる内容であった。
- 富士フイルムメディカル株式会社からの提案は、ヘリウムを全く使用しない仕様で環境にやさしく災害に強いゼロヘリウム装置であり、災害拠点病院としての当院の役割を考慮して評価できる。さらに当院における MRI 機器以外の医療機器の導入実績も高く、一体的なきめ細かなサービス体制が期待でき、本体価格において最も低価格での見積金額の提示など、性能面の向上や経営コストの削減において当院に貢献することが期待できると評価した。
- キヤノンメディカルシステムズ株式会社からの提案は、患者が入る装置開口部を大口径にすることにより患者の快適性に優れている点、他社と比べ高出力であり、

高解像度画像に優れている点、さらに日本国内における MRI の納入実績が 3 者中最も高く安定性と信頼性で優位性がある点など、技術的優位性、患者配慮、豊富な導入実績となっており、当院の診断能力向上と患者サービス改善に貢献することが期待できると評価した。

- 東京医療化学株式会社からの提案は、検査中に撮影部位に密着させて使うコイルを軽量で柔らかいブランケットタイプのものにすることで患者の快適性を向上させる点、県内での導入実績が一番高く、患者紹介時の高次医療機関との画像連携の強化につながる点、導入費用と保守費用を合算した総費用が最も低価格である点など、患者サービスの向上、他機関との医療連携強化、経営コスト低廉化において貢献することが期待できると評価した。

- 3者それぞれに優位な点が見られ、審査は拮抗したが、審査結果のとおり総合的に評価を行った結果、総得点で東京医療化学株式会社を最優秀提案者と決定した。

別紙

採点集計表

		評価項目	配点	富士フイルムメディカル株式会社	キャノンメディカルシステムズ株式会社	東京医療化学株式会社				
			平均	平均	平均	平均				
1.MRI装置(性能評価)	1-1.ガントリ・マグネットシステムについて	1 液体ヘリウム消費は、通常稼働時に0 ℓ/h であること。	120	96.8	99.2	110.2				
		2 患者の快適性を確保するためガントリ内照明・送風機能があること。								
		3 本体ガントリの操作パネルは、ガントリ前面に左右両方に設置されていること。								
		4 液体ヘリウムを使用しないため、酸素濃度計の設置およびクエンチ配管工事を必要としないこと。								
		5 状況によって消磁および励磁の操作をメーカーを呼ぶことなく可能であること。								
		6 静磁場マグネットを残して、傾斜磁場コイルや、受信コイル、操作コンソールなどハードウェアを交換し装置の更新を行う方法をこれまで日本国内で100台以上実施したことがある製造メーカーであること。								
		7 ガントリボア径は垂直水平方向に70cm以上であること。								
	1-2.傾斜磁場システムについて	1 傾斜磁場をコントロールした静音機能が可能であること。	80	57.6	78	66.4				
		2 傾斜磁場をコントロールした静音機能が体動補正と併用できること。								
		3 画像の細かさに寄与する性能であるため、最大傾斜磁場強度は、X/Y/Z 3軸それぞれで35mT/m以上であること。								
		4 最大傾斜磁場強度使用時の最大スルーレートは、3軸それぞれで150T/m/s以上であること。								
		5 3Dラジアル法をベースとしたデータ収集法によりMPR検査室環境音に対して+3dB以下の騒音しか発生させない撮像法を有し、当該撮像法の最短TEは100μsec以下であること。								
	1-3. RFシステム、RFコイルについて	1 RF調整は自動チューニングが可能であること。また、送信・受信ゲインなどの調整や中心周波数などを手動にて調整可能であること。	120	80.8	89.2	111.6				
		2 撮影時の送信ゲインを考慮してSARのマネージメントを行う機能を有していること。								
3 データ受信機構において、コイルで得られたアナログ信号は、ガントリ内でデジタル信号に変換する技術を有すること。										
4 RF送信出力は、最大18kW以上である。										
5 頭頸部用のフェイスドレイコイルが16素子以上であること。										
6 頭頸部コイルはスパーサーなどの使用が不要なチルト機構を有すること。										
7 頭頸部コイル内蔵の高性能ヘッドフォンを有すること。										
8 脊椎用のフェイスドレイコイルが30素子以上であること。										
9 ブラケット型コイルを有すること。										
10 16素子以上の乳腺専用コイルを有すること。										
1-4.患者寝台について	1 患者寝台のテーブルの水平移動は100mm/s以上で移動可能であること。	30	28	29	22					
	2 患者テーブルの最低テーブル高は50cm以下であること。									
1-5.制御システムおよび本体操作コンソール・撮像支援機能	1 患者の昇降はガントリ側のフットペダルで行うことが可能であること。	80	70.8	62.6	64.4					
	2 撮像と読影及び画像処理の並行処理が可能であること。									
	3 撮像の位置決めは、同時に3方向以上の画像が運動して、任意のスライス位置決めが行えること。									
	4 コンソールからの送風調光操作が可能であること。									
	5 画像計算時間(256×256マトリクス)は1秒間に35,000枚以上であること。									
	6 途中で撮像を中断した場合でも一定以上のデータがあれば画像救済が可能であること。									
	7 MRアンギオグラフィで自動クッティング(カッティング)する機能を有すること。									
	8 MRCF、肩関節、乳房撮像において自動的に撮像断面の設定が行える機能を有すること。									
	9 撮影済み画像からプラン中にスライス面のMPRをリアルタイムで表示し事前にMPRIに必要な断面を確認することが可能な機能を有すること。									
	10 コイルにセンサーが内蔵され、1ボタンで検査位置に移動しセッティング効率が向上する機能を有すること。									
	1-6.基本的撮像及び処理機能					1 最大撮像視野は、X/Y/Z 3軸それぞれで550mm以上であること。	130	107.6	111.4	106.6
						2 腹式呼吸のため横隔膜の動きが少ない被検者でも可能な臓器の動きの位相情報を得ること可能な呼吸同期法を有すること。				
						3 Soft Shrinkage 関数を実装したニューラルネットワークを用いたノイズ除去再構成技術を有すること。				
						4 ティーブレーニングによって開発されたアルゴリズムはノイズリダクション機能に加え、ティブレーニングを用いて設計した超解像画像再構成技術を有し、周波数方向および位相方向にいずれも3倍以上面内の表示マトリクスを向上させることが可能であること。				
5 ティブレーニングによって開発された画像再構成が、TOF法MRアンギオグラフィで使用可能であること。										
6 ティブレーニングによって開発されたアルゴリズムと多断面同時励起(マルチスライス撮像)と併用が可能であること。										
7 ティブレーニングによって開発されたアルゴリズムは撮像条件に組み込むことも、後処理で再々構成することも可能であること。										
8 頭部、頸部、脊椎において、圧縮センシングの技術を応用した高速撮像が可能であり、倍速設定が可能であること。または圧縮センシングのregularization factorを自由に設定できること。										
9 3Dの非造影脳パフュージョンが可能であり、最大7種類までのPLDの設定が可能であり、撮像終了後にCBF及び遅延遠流マップの出力が装置本体もしくはWSで可能であること。										
10 FSE法およびGRE法において3ポイントDixon法(In Phase, Opposed Phase以外のタイミングのTEも含む)を用い、Inphase, Out of Phase, Water, Fatの4つの画像を同時に再構成が可能であること。										
11 3D GRE法によるダイナミック3D撮像が可能であること。またナビゲーターエコー等の併用で思はず無しのDynamic 3D撮像も可能であること。										
12 TEが100μsec以下の超短T1 GREを用いたRadial収集法により、脳血管内治療後のインプラントのアーチファクトを抑制したMRアンギオグラフィが可能であること。さらにその手法はコイル依存性なく、下肢血管などでも使用可能であること。										
13 ハーフスキャンによる未計測データの推定にAI技術を活用可能であること。										
14 体動補正が、MRA(TOF法)、SE法、T2*強調撮像の撮像で併用可能であること。										
2.付帯作業について	1 MRI装置の稼働に必要な改修工事として既存を流用せずに(内装工事：壁、天井、床、シールド工事等を含む)を実施すること。また費用については負担すること。	20	19	18	18					
	2 MRI装置に伴う必要な電源については事前に病院と協議し、1次側、2次側電源を施工すること。また費用については負担すること。									
	3 当院のHIS等とのDICOM MWM機能を有すること。また接続が可能なこと。									
	4 納入物品のうち電子カルテシステム、画像管理システム及びレポートシステム、その他のシステム等の連携に要する費用は負担すること。									
	5 当院のHIS・PACSおよびWSへのNW接続を行うこと。また費用については負担すること。									
3.サービス体制・保守体制について	1 納入業者の負担によりインターネット回線を設置し、オンラインでの保守管理(マシンの保守等を含め)が24時間可能なリモートメンテナンス体制を整備すること。	100	83	81	92.4					
	2 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。									
	3 納入検査終了後から1年間は機器の無償保証期間とし、機器が正常に稼働し、臨床に最適に使用できるように定期的な点検を実施すること。また、保証期間中に発生した使用者の過失によらない故障等に係る点検、修理等については、無償保証の対象とする。									
	4 納入物品の故障、不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず夜間および祝祭日でも修理等の対応、連絡体制が整備されていること。									
	5 納入物品は、納入後において少なくとも耐用年数中は稼働に必要な消耗品及び故障時における交換部品の安定した供給が確保されていること。									
	6 定期保守点検は日中業務に支障をきたすことのないよう、計画・実施すること。									
	7 保証期間終了後に保守契約をした際に、ソフトウェアのバージョンアップ、ウイルス対策を保守サポート内で行い、長期間の保守の中ではハードウェア交換が必要な際には交換作業を契約内容に基づき行うこと。									
	8 保守に係る契約を締結する場合、適正な内容・価格での締結が可能であること。									
4.機器の導入について	1 静磁場強度1.5T装置の納入実績およびマグネット再利用更新実績(過去3か年分)を提出すること。	50	26	50	30.6					
5.整備スケジュールについて	1 現装置稼働停止から新装置稼働可能となるまでの期間が1.5ヶ月以内であること。	50	49	48	43					
	2 設置工事・日程に関して、当院の運用・業務に極力ロスがないようにすること。									
	3 搬入・排出・設置に関して、関係法令等が遵守されていること。									
6.サポート体制について	1 導入後、教育訓練・操作方法・アプリケーション使用方法を継続してサポートできる体制が可能なこと。	50	46	46	46					
	2 機器の設置及び更新にあたり、必要な申請や届出を実施できること。									
	3 納入物品の十分な教育訓練を行うこと。なお、教育訓練の日時及び場所については、当院と協議の上行うこと。									
	4 その後必要に応じて派遣または電話の対応等の体制を確保すること。									
	5 稼働後一年間は、当院の求めに応じて技術者を派遣させ、機器の稼働性能を確認するとともに、病院関係職員の仕様操作に対し随時指導すること。なお、交通費等の費用は負担すること。									
7.自由提案	1 上記以外で、当院経営改善、患者サービス向上、検査運用等に対する提案(提案様式第2号の2)及び資料・説明の分かりやすさ等	20	16	17	16.4					
技術評価点		850	680.6	729.4	727.6					
価格評価点		150	127.5	100.9	125.1					
総合評価点		1,000	808.1	830.3	852.7					